Creative Enzymes®

ヒト由来ジペプチジルペプチダーゼIV、組換え

Cat. No. NATE-0204

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ネイティブDPPIVは、広く存在するタイプII膜貫通糖タンパク質であり、S9プロリルオリゴペプチダーゼファミリーのセリンプロテアーゼです。生体内では、膜アンカリングドメインとして機能するシグナルペプチドと共に合成されます。ヒトと豚の腎酵素の間には88%の配列相同性があります。両者は、サブユニット分子量約30 kDaのホモ二量体として存在します。高マンノース100 kDa DPPIV前□体は、ゴルジ体で処理され、重度にNおよびO結合した成熟糖タンパク質124 kDaを生成します。その後、NおよびO結合したグリカンの協調的な作用と脂質マイクロドメインとの関連によって、頂端膜に選別されます。豚の酵素は18.3%の炭水化物を含み、グリカン組成は0.9%フコース、3.4%マンノース、5.1%ガラクトース、8.2%グルコサミン、0.7%シアル酸です。DPPIVは内皮細胞、上皮細胞、リンパ球で高く発現しています。また、可溶型として血漿にも存在します。
用途	ヒトジペプチジルペプチダーゼIVは、その阻害とアンジオテンシン□換酵素阻害の相互作用的な血行動態効果を研究するために使用されてきました。ヒトジペプチジルペプチダーゼIVは、ハチ目の毒アレルギーの理解を深めるための研究にも使用されました。Creative Enzymesの酵素は、DPP-IV阻害剤スクリーニングおよび基質発見のためのLC-MS（液体クロマトグラフィー-質量分析）ベースのアッセイ法を研究するために使用されました。
別名	EC 3.4.14.5; 54249-88-6; DPPIV; DPP4; ジペプチジルアミノペプチダーゼ IV; Xaa-Pro-ジペプチジルアミノペプチダーゼ; Gly-Pro ナフチルアミダーゼ; ポストプロリンジペプチジルアミノペプチダーゼ IV; リンパ球抗原 CD26; グリコプロテイン GP110; ジペプチジルペプチダーゼ IV; グリシルプロリンアミノペプチダーゼ; グリシルプロリンアミノペプチダーゼ; X-プロリルジペプチジルアミノペプチダーゼ; pep X; 白血球抗原 CD26; グリシルプロリルジペプチジルアミノペプチダーゼ; ジペプチジル-ペプチドヒドロラーゼ; グリシルプロリルアミノペプチダーゼ; ジペプチジル-アミノペプチダーゼ IV; DPP IV/CD26; アミノアシル-プロリルジペプチジルアミノペプチダーゼ; T細胞トリガー分子 Tp103; X-PDAP

製品情報

種	人間
由来	バキュロウイルスに感染したSf9細胞
形態	10 mM Tris-HCl、pH 7.6、200 mM NaCl、1 mM EDTA、および10%グリセロールの溶液として供給されます。
EC番号	EC 3.4.14.5
CAS登□番号	54249-88-6
分子量	105 kDa
活性	> 10 ユニット/mg タンパク質
代謝□路	インクレチンの合成、分泌、及び不活化、特定生物体のバイオシステム; エネルギー代謝の統合、特定生物体のバイオシステム; 代謝、特定生物体のバイオシステム; タンパク質の消化と吸収、特定生物体のバイオシステム; タンパク質の消化と吸収、保存されたバイオシステム; インスリン分泌の調節、特定生物体のバイオシステム; グルカゴン□ペプチド-1 (GLP-1) の合成、分泌、及び不活化、特定生物体のバイオシステム
機能	アミノペプチダーゼ活性; コラーゲン結合; ジペプチジル-ペプチダーゼ活性; ペプチダーゼ活

機能	ペプチダーゼ活性; コラーゲン結合; ペプチダーゼ活性; ペプチド結合; プロテアーゼ結合; タンパク質結合; タンパク質ホモ二量体化活性; 受容体活性; 受容体結合; セリン型エンドペプチダーゼ活性; セリン型ペプチダーゼ活性
単位定義	1ユニットは、37°CでpH 7.6の100 mM Tris-HCl中でGly-L-Pro p-nitroanilideから1.0 µmoleのp-nitroanilineを分生成します。

使用法とパッケージング

包装	> 1.0 ユニット/バイアルのパッケージ

保管・発送情報

保存方法	−20°C